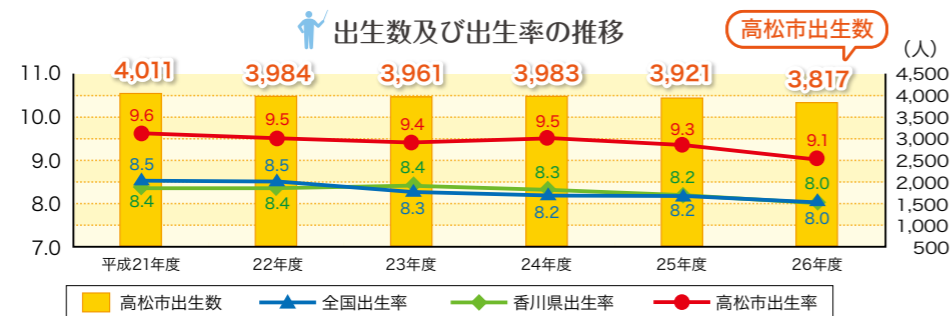
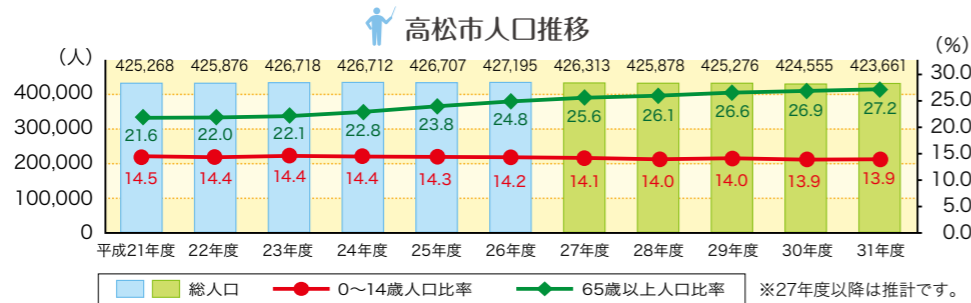


# 出産 DATA FILE

## 高松市でも少子化傾向

高松市の人口は約42万人です。平成22年度以降ほぼ横ばいですが、平成27年度を境に減少していく見込みです。では、高松市では年間何人くらいの赤ちゃんが生まれているのでしょうか？ 答えは、年間約4,000人。この出生数も年々減少していて、高松市でも少子化傾向が見られます。



### 高松の子育て支援が一目でわかる！

#### 子育てハンドブック『たかまつらっこ』

高松市の子育て支援制度やサービスを網羅して、分かりやすく1冊にまとめたハンドブックです。母子健康手帳の交付時や高松市への転入時などにお渡ししています。

たとえば、次のようなコンテンツがあります。

- 赤ちゃんがやってきた ●働くパパ・ママを応援 ●出産・育児費用のサポート
- 子どもの健康管理 ●育児の不安や悩みどうしよう ●子どもを預けるときは など

ほかにも育児に役立つ情報提供をしています。

- 赤ちゃんの子育てのヒント、子どもの事故防止、食育、子育て家庭の防災の心得 など



#### たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」

<http://takamatsu-rakko.net/>

高松市の子育て支援に関する情報は、パソコンやスマートフォンで閲覧できます。ハンドブックに掲載している情報以外にも、子育て家庭向けの「お知らせ」や「イベント情報」を随時更新しています。



## 妊娠中から出産後まで、さまざまなサポートがあります

### 妊娠

#### ●妊娠がわかったら、妊娠届と母子健康手帳

産婦人科を受診して妊娠が確定したら、「妊娠届」を提出して、「母子健康手帳」の交付を受けます。交付場所は、高松市保健センター、市役所1階市民相談コーナー、各保健ステーション等です。

母子健康手帳は妊娠の初期から子どもが小学校に入学するまで、母子の成長や健康の記録を残すものです。子ども1人に1冊交付されます。

#### ●妊婦一般健康診査を定期的に受診

母子ともに健康に出産を迎えるために、妊婦一般健康診査を必ず受けましょう。妊婦とおなかの赤ちゃんの健康を守り、経過が順調かどうかをチェックするための大切な機会です。ただし、出血や腹痛など、いつもと違う症状があるときは、すぐに受診しましょう。

#### 高松市が費用の一部を助成！

経済的な負担を減らすため、妊婦一般健康診査費用の一部を助成しています。診察する医療機関に「母子保健ガイドブック」に添付されている各種妊婦健康診査受診票を「母子健康手帳」と一緒に提示すると、費用の一部助成があります。

### 出産

#### ●出生届は14日以内に忘れずに！

誕生後、14日以内に出生届を必ず提出しましょう。届け出をすることで赤ちゃんも住民登録され、社会の一員になる大切な手続き。期限内に提出しなければいけません。

出生届のほかにも、**出産費用の軽減や、子どもの成長に合わせて受け取れる手当がある**ので忘れずに申請しましょう。

<b>出産育児一時金</b> (※国民健康保険の加入者の場合)	出産費用の負担軽減につながるよう、国民健康保険に加入している方に支給されます。
<b>児童手当</b>	中学3年生までの子どもを養育している方に支給されます。 (出生日の翌日から15日以内に申請)
<b>医療費助成</b>	0歳～中学3年生までの子どもの医療費が助成されます。 (中学生は入院助成のみ)

### マタニティマークを見かけたら...

このマークは、妊婦であることを示すものです。たとえば、妊娠初期で外見からは妊娠しているとわからない時期でも、周囲の人が妊婦さんに配慮しやすくなります。

高松市では、母子健康手帳と一緒にバッジとカードを配布しています。

#### このマークを利用している人を見かけたら

- 電車、バス等では優先して席をゆずる。
- 近くでの喫煙は控える。
- 優先して駐車スペースをゆずる。 など、やさしい配慮を心がけましょう。

